

パッケージ型鋼板製消化タンク

建設費の低減と運転状況の可視化により安定運転・維持管理費を低減

消化タンクを鋼板製にすることで建設費を低減するとともに、センサー類を設置して槽内状況を可視化することで、安定運転や維持管理費の低減を図り、消化タンクの普及促進を目指します。

鋼板製消化タンク外観



特長

- センサーを駆使してタンク内の状況を見える化
堆積物の測定・温度ムラの検知・異常発泡の検知等が可能です。
- 建設費の低減と建設工期の短縮
- 事業計画に合わせた柔軟な改築
定期的な補修を行うことで35年以上の運転が可能です。

低動力インペラ式攪拌機

- 低動力で高効率な攪拌が可能
- スカム破碎機構で、多様なバイオマスにも対応可能
- 堆積物排出運転で効果的に堆積物を排出

公的認知

- ・ 日本下水道新技術機構との共同研究 「鋼板製消化タンク技術マニュアル」 発刊
- ・ 国土技術政策総合研究所から委託研究 「B-DASHプロジェクトガイドライン（案）」 策定
- ・ 日本下水道事業団が新技術（II類）に選定 「パッケージ型鋼板製消化タンク」